

災害時対応マニュアル

(合同会社グランツ)

HUG CHILD 発育サポート教室

災害時対応マニュアル

1. はじめに

職員及び利用者並びにお客様の生命を守るため、地震、台風、火事等の災害が発生した場合に即座に対応できるようマニュアルを策定する。

2. 被害を最小限に抑えるために

(1) 台風・豪雨

台風が接近している場合は風で飛んで行きそうなものを室中に入れる、雨戸を閉める等台風対策を行う。

(2) 地震

地震発生の予測は出来ないため、常日頃から棚の上にあるものが落ちてこないよう配慮し、棚が倒れないようストッパーをつける

(3) 火災

調理中は目を離さない、チャッカマン等火の出るものの管理を徹底する。

3. 災害発生時

(1) 台風・豪雨

・サービス提供時間中に暴風警報が出された場合はその時点の気象の状況を見極めたうえで送迎時間を調整する。

臨時休業について

- ・午前 7 時の時点で大和郡山市内に警報または特別警報が発表された場合は臨時休業とする。
- ・ただし、正午の時点で警報が解除された場合は午後 1 時より開室する。
- ・なお、午前 7 時以降で送迎中またはサービス提供時間中に確実に暴風を含む警報または大和郡山市内に特別警報が発表されるおそれがある場合は、臨時休業とする。

(2) 地震

・地震発生時フローチャート参照

(3) 火災

・火災発生時フローチャート参照

4. 報告

被害が出た場合は大和郡山市および奈良県指定の様式で報告を行い指示に従う。

【災害時避難場所】
大和郡山市民交流館
大和郡山市高田町 92-16
0743-51-1155

地震発生時フローチャート

【災害時避難場所】
大和郡山市民交流館
大和郡山市高田町 92-16
0743-51-1155

地震発生!

地震の場合

(第一次避難)
安全確保の指示を迅速に行う 「机の下にもぐりなさい」「かばんで頭を守りなさい」等
火の始末の確認をする

地震が収まった後

指導員

最新の災害情報を入手する
(TV・ラジオ・インターネット等)

その他の指導員

(第2次避難)
避難場所の安全の確認
避難場所へ安全に移動させる
(㊸㊹㊺㊻の約束を守らせる)

児童の人数確認

人数不足

全員確認

活動場所の安全の確認
その場で安全を確保し待機

逃げ遅れた
児童の探索
にあたる

各種警報・避難指示

あり

なし

震度5強以上

保護者に連絡するとともに
待機児童の安全の確保

保護者への引き渡し
連絡の取れない児童につ
いては、教室待機

- ㊸ : おさない
- ㊹ : かけない
- ㊺ : しやべらない
- ㊻ : もどらない

地震が収まったこと、及び活動場所や周辺
の安全等を確認して、活動再開の指示

火災発生時フローチャート

【災害時避難場所】
大和郡山市民交流館
大和郡山市高田町 92-16
0743-51-1155

火災発生！

指導員①

- ・火災発生時の状況確認
避難経路、及び避難場所を決定

指導員②

- ・火災発生場所を確認し、管理者に連絡。
- ・可能であれば、初期消火に当たる
- ・消防署・警察（必要に応じて）通報
- ・正門等を開錠し、緊急車両の進入路を確保

指導員③

- ・児童のパニックを抑え、安全な場所に避難させる
- ・火器を使用しているときは、消火するとともにガスの元栓等を閉める

避難の方法

- ・避難場所の確認、及び避難場所への経路を緊急放送等で指示
- ・重要書類の撤出
避難経路等において誘導と安全確保の支援に当たる
- ・学校・保護者に連絡をし、引き渡しの準備を行う

- ・分担し、避難経路、避難場所等において誘導と安全確保に努める
- ・逃げ遅れた児童がいないか確認する

- ・避難指示に基づき、安全に避難させる（煙の状況によっては身を低くしハンカチを口に当てるなどの指示をする
- ・特別な支援を要する児童については、十分に配慮し避難誘導に当たる
- ・負傷した児童に応急手当てを行う

- ・保護者への引き渡しを行う
- ・保護者への連絡が取れない児童や、保護者が迎えに来られない児童については、安全な教室等で待機させる。